

科目名	こころの科学	科目名 (英文)	Introduction to Psychology
担当教員	増田 匡裕 教授		
配当年次・学期	1～4年次・前期	履修区分	選択
単位数	2単位	時間	30時間

#### 概要・目的

看護師になるのには心理学は特に必要ではない。既に看護学に取り込まれたものを学べば十分である。但し、看護職が他職種連携を目指す場合は必要である。それらの専門職では大学の必修科目になっていることが多いからだ。勿論、単に「4年制大学ならでは」の勉強をしたいだけでも十分な動機である。この授業は受講者数が1桁になることが普通になったので、今年度からは、オックスフォード大学出版局の定評のあるVery Short Introduction シリーズから毎年異なる2冊ずつを講読することで国際的に通用する医療者になる心構えを育む授業に転換する。一度履修済みの学生であれば、今後の講読にも参加を歓迎する。むしろ後輩のために良いお手本になって戴きたい。

#### 到達目標

- 1) キャリア形成に心理学を組み込むことができる。
- 2) 国際的に通用する教養を身につける手がかりを掴む。

#### 回 内容・スケジュール

- 1) *Thinking and Reasoning*, Chapter 1: Introduction and history
  - 2) *Thinking and Reasoning*, Chapter 2: Problem solving
  - 3) *Thinking and Reasoning*, Chapter 3: Thinking hypothetically
  - 4) *Thinking and Reasoning*, Chapter 4: Decision making
  - 5) *Thinking and Reasoning*, Chapter 5: Reasoning
  - 6) *Thinking and Reasoning*, Chapter 6: Are we rational?
  - 7) *Thinking and Reasoning*, Chapter 7: From dual processes to two minds
  - 8) General review on *Thinking and Reasoning*
  - 9) Discussion based on *Thinking and Reasoning*
  - 10) *Emotion*, Chapter 1: What is an emotion?
  - 11) *Emotion*, Chapter 2: The evolution of emotion
  - 12) *Emotion*, Chapter 3: How to be happy
  - 13) *Emotion*, Chapter 4: The head and the heart
  - 14) *Emotion*, Chapter 5: The computer that cried
- General review on *Emotion (2nd Ed.)*

#### 事前・事後学修課題

各章の予習を怠らないこと。毎回、各章の特に重要な文章については、英文の朗読と訳を求める。受講生全員、一度は声を出す機会がある。全文を読むことができなくても、トピックセンテンスの拾い読みをしておけば授業に着いていくことは十分可能である。

#### 評価方法

毎回の授業で、準備が十分であることが確認できれば原則的に80点である。準備が不足している回が過半数となれば60点未満となる。但し、これは機械的にカウントされるのではない。当初は授業の準備の仕方が分からないようでも、次第に文献の読み方が分かるようになれば、最終的には80点以上の評価となる。一方、大学生としての成長が窺えない場合は70点以下である。

※講読形式のため、定期試験は実施されない。レポート課題もない。この科目は選択科目であるため、再試験も実施されない。

#### 評価責任者

増田 匡裕

#### 教科書

Evans, J. St B. T. (2017). *Thinking and reasoning: A very short introduction*. Oxford University Press.

Evans, D. (2019). *Emotion: A very short introduction (2nd ed.)*. Oxford University Press.

※注意：Emotion は第2版を用いる。2001年発行の初版は教材ではない。自分で手配したり、電子版を購入したりするときは注意すること。生協での手配状況は生協に問い合わせること。

#### 推薦参考図書

#### 学生へのメッセージ

第1回から予定通り講読を始める。準備の仕方を間違える受講生が多い場合は、第8回と9回の内容を合わせることにし、第2回は改めて第1章の講読とする。従って、第1回は気楽に受講してくれて良いが、趣旨が分からない状態での受講はご遠慮願う。勿論、テキストは第1回から必携である。

#### 教員への連絡方法

まず電子メールで要求すること。チャットの方が連絡が付きやすいことがあるが、Teamsで授業をしているときに、関係ない学生の前に内容が晒される虞があるのでお勧めできない。